

ほう素及びその化合物、ふっ素及びその化合物並びにアンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物に係る暫定排水基準

○ほう素及びその化合物（単位：ほう素の量に関して、mg/L）

| 業種その他の区分 | 現行 (H28. 7. 1 ～R1. 6. 30) | 見直し後 (R1. 7. 1 ～R4. 6. 30) | (参考) 一般排水基準 |
|--|---------------------------------|----------------------------------|---|
| 電気めつき業（海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 30 | 30 | 海域以外の公共用水域に排出されるもの 10 海域に排出されるもの 230 |
| ほうろう鉄器製造業（海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 40 | 40 | |
| うわ薬製造業（ほうろううわ薬を製造するものであり、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 40 | 暫定排水基準を廃止し、一般排水基準へ移行 | |
| 貴金属製造・再生業（海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 40 | 暫定排水基準を廃止し、一般排水基準へ移行 | |
| 下水道業（旅館業（温泉（温泉法（昭和23年法律第125号）第2条第1項に規定する温泉をいう。以下同じ。）を利用するものに限る。）に属する特定事業場（下水道法（昭和33年法律第79号）第12条の2第1項に規定する特定事業場をいう。以下「下水道法上の特定事業場」という。）から排出される水を受け入れており、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものであつて、一定の条件に該当するものに限る。） | 50 | 50 | |
| 金属鉍業（海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 100 | 100 | |
| うわ薬製造業（うわ薬瓦の製造に使用するうわ薬を製造するものであり、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 140 | 暫定排水基準を廃止し、一般排水基準へ移行 | |
| 旅館業（温泉を利用するものに限る。） | 500 | 500 | |

※ほう素及びその化合物の項中下水道業において、「一定の条件」とは、次の算式により計算された値が10を超えることをいう。

$$\sum C_i \cdot Q_i / Q$$

この式において、 C_i 、 Q_i 及び Q は、それぞれ次の値を表すものとする。

C_i 当該下水道に水を排出する旅館業に属する下水道法上の特定事業場ごとの排出する水のほう素及びその化合物による汚染状態の通常値（単位 ほう素の量に関して、1リットルにつき

ミリグラム)

- Q i 当該下水道に水を排出する旅館業に属する下水道法上の特定事業場ごとの排出する水の通常
の量 (単位 1日につき立方メートル)
- Q 当該下水道から排出される排出水の通常量 (単位 1日につき立方メートル)

○ふっ素及びその化合物（単位：ふっ素の量に関して、mg/L）

| 業種その他の区分 | 現 行 (H28. 7. 1 ～R1. 6. 30) | 見直し後 (R1. 7. 1 ～R4. 6. 30) | (参考) 一般排水基準 | |
|---|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|----------------------|
| ほうろう鉄器製造業（海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 12 | 12 | 海域以外の公 共用水域に排 出されるもの 8 | |
| うわ薬製造業（ほうろううわ薬を製造するものであり、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 12 | 暫定排水基準を 廃止し、一般排 水基準へ移行 | | |
| 電気めつき業（1日当たりの平均的な排水の量が50立方メートル以上であり、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 15 | 15 | | |
| 旅館業（水質汚濁防止法施行令及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令の一部を改正する政令（昭和49年政令第363号。以下「改正政令」という。）の施行の際現に湧出していなかった温泉を利用するものであつて、1日当たりの平均的な排水の量が50立方メートル以上であり、かつ、海域以外の公共用水域に排水を排出するものに限る。） | 15 | 15 | | |
| 旅館業（温泉（自然に湧出しているもの（掘削により湧出させたものを除く。以下同じ。）を除く。以下この欄において同じ。）を利用するものであつて一日当たりの平均的な排水の量が50立方メートル未満であるもの又は改正政令の施行の際現に湧出していた温泉を利用するものに限る。） | 30 | 30 | | 海域に排出さ れるもの 15 |
| 電気めつき業（1日当たりの平均的な排水の量が50立方メートル未満であるものに限る。） | 40 | 40 | | |
| 旅館業（温泉（自然に湧出しているものに限る。以下この欄において同じ。）を利用するものであつて、一日当たりの平均的な排水の量が50立方メートル未満であるもの又は改正政令の施行の際現に湧出していた温泉を利用するものに限る。） | 50 | 50 | | |

○アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物

(単位：アンモニア性窒素に 0.4 を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量に関して、mg/L)

| 業種その他の区分 | 現 行 (H28. 7. 1 ～R1. 6. 30) | 見直し後 (R1. 7. 1 ～R4. 6. 30) | (参考) 一般排水基準 |
|--|----------------------------------|----------------------------------|----------------|
| 下水道業（下水道法施行令（昭和34年政令第147号）第24条の2第1項第1号に定める特定公共下水道に係るものであり、かつ、モリブデン化合物製造業又はジルコニウム化合物製造業に属する下水道法上の特定事業場から排出される水を受け入れているものに限る。） | 130 | 130 | 100 |
| 酸化コバルト製造業 | 160 | 120 | |
| 畜産農業 | 600 | 500 | |
| ジルコニウム化合物製造業 | 700 | 600 | |
| モリブデン化合物製造業 | 1,500 | 1,400 | |
| バナジウム化合物製造業 | 1,650 | 1,650 | |
| 貴金属製造・再生業 | 2,900 | 2,800 | |

ほう素、ふっ素、硝酸性窒素等に係る暫定排水基準

| 業種 | | 制限等 | 見直し前(H28.7.1～R1.6.30)→見直し後(R1.7.1～R4.6.30) | | |
|-------------|--------------|--|--|----------------------|------------------|
| | | | ほう素 (mg/L) | ふっ素 (mg/L) | 硝酸性窒素等 (mg/L) |
| | | | 一般排水基準: 10(海域は 230) | 一般排水基準: 8(海域は 15) | 一般排水基準: 100 |
| 温泉 | 旅館業 | 自然湧出 | 500 → 500 | 50 → 50 | |
| | | 自然湧出以外 | | 30 → 30 | |
| | | 昭和 49 年以降湧出で 50m ³ /日以上 | | 15 → 15 | |
| 畜産 | 畜産農業 | | | | 600 → 500 |
| 工業 | うわ薬製造業 | うわ薬瓦の製造の用に 供するもの | 140 → 一般 | | |
| | | ほうろううわ薬製造業 | 40 → 一般 | 12 → 一般 | |
| | ほうろう鉄器製造業 | | 40 → 40 | 12 → 12 | |
| | 金属鋳業 | | 100 → 100 | | |
| | 電気めっき業 | 日排水量 50m ³ 未満 | 30 → 30 | 40 → 40 | |
| | | 日排水量 50m ³ 以上 | | 15 → 15 | |
| | 貴金属製造・再生業 | | 40 → 一般 | | 2,900 → 2,800 |
| | 酸化コバルト製造業 | | | | 160 → 120 |
| | ジルコニウム化合物製造業 | | | | 700 → 600 |
| | モリブデン化合物製造業 | | | | 1,500 → 1,400 |
| バナジウム化合物製造業 | | | | 1,650 → 1,650 | |
| 下水道 | 下水道業 | 温泉排水を受け入れている もので一定のもの | 50 → 50 | | |
| | | モリブデン、ジルコニウム 化合物製造業排水を受け 入れているもの | | | 130 → 130 |

暫定排水基準を変更せず延長
 暫定排水基準を改定して延長
 空欄は一般排水基準適用